

あなたと議会をむすぶ

議会広報

平成29年8月24日発行  
第151号

# あじがさわ

発行…青森県鰹ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鰹ヶ沢町本町209-2 編集…議会広報編集委員会 ☎0173②2111(代)

この広報紙は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。

## 鰹ヶ沢町高校生模擬議会×鰹ヶ沢高校



再質問で理事者側に鋭く迫る高校生議員

真剣な表情で傍聴する生徒



壇上で質問内容を述べる高校生議員



7月7日(金) 当町で初めての高校生模擬議会が開催されました。当日は、鰹ヶ沢高校2学年35人が参加。10人の生徒が議員として、高校生の目線から町の活性化に対する提言を行い、鋭い質問を投げかけました。

高校生  
模擬議会  
特集号

高校生模擬議会を開催	2～3
高校生議員の一般質問	4～9
第2回定例会のあらまし 外国人旅行者受け入れの環境整備へ	10
4人の議員が一般質問 (町民・町職員28人が傍聴)	11～14
議会活動 議会改革学習会・管内視察	15
特集 ～まち再発見 Vol. 3～(鰹ヶ沢町に勤務して)	16

# 初の高校生模擬議会にて提言

## 若者の雇用創出を 鱈ヶ沢町の課題

当町では初めての開催となる鱈ヶ沢町高校生模擬議会が、7月7日、町議場で行われました。

当日は、鱈ヶ沢高校2学年35人の生徒が模擬議会に臨みました。

今回の開催は、選挙権18歳実施を受け、有権者として自覚を持ち、地方自治に関する理解を深めること、また町政に対し発表する機会を提供し、地域への愛着や誇りを醸成することを目的に、鱈ヶ沢町と鱈ヶ沢高校の主催のもと行われました。



後半議長

佐藤 芽衣さん



前半議長

小林 菜月さん

緊張感漂う議場に号鈴が響き、模擬議会が開始されました。

はじめに、指導教諭としてサポートする鱈ヶ沢高校木村朋之先生が高校生議員20人を紹介。

その後、本会議に入り、前半の議長を小林菜月さん、後半議長を佐藤芽衣さんが務め、議事を進行了ました。

本会議では、はじめに東條町長が発言を求め、あまりきつい質問はしないよう、厳しい議会にならないようにと述べました。

一般質問では、前半5人、後半5人に分かれて10人の議員が演壇に立ち、町に対する思いを述べました。各議員からは、町が直



鱈ヶ沢高校

面する人口減少問題を視点とした雇用確保、基幹産業である一次産業を活用した地域振興策などの提言がされました。

町側の答弁に対し、各議員が再質問を行い、町政へ鋭く迫りました。現在、県立高校再編の実施計画が議論される中、生徒数の減少傾向にある鱈ヶ沢高校の存続に関する質問では、町の対策について問いただす場面もあり、町議会同様の議論が交わされました。

# 町の人口減少対策のため地域産業の活性、

# 鯺高生が考える



議席において堂々と再質問をする高校生議員

## みんなで考えた一般質問 地域を見直すきっかけに

### 高校生議員による一般質問一覧 (敬称略)

議席番号	質問者	質問事項
1番	工藤 琉羽	子供達が遊ぶ環境の整備について
2番	古川 真衣	あじバスのアナウンスについて
3番	成田 樹李	釣りを活用した観光について
4番	寺沢 睦喜	イカの水揚げの減少について
5番	木村菜々美	橋の改修について
6番	平沢 杏菜	白神山地のPRについて
7番	神 優哉	活気ある町作りについて
8番	小野 美穂	閉校した校舎の利用について
9番	三浦 溪一	生徒数減少について
10番	神 嘉乃	冬のイベントを利用した観光PRについて

模擬議会開催にあたり、生徒たちは、まず地方自治について学習。そして、町が策定した「まち・ひと・しごと創生 鯺ヶ沢町総合戦略」から町の現状と課題を考え、班ごとに質問内容を検討しました。

質問する議員は、10の班に分かれた各班から1人ずつ選出。鯺ヶ沢町をより良くするため、町に住む生徒、町外から通う生徒。それぞれの視点から意見や問題点を出し、話し合いを重ね、質問事項をまとめました。



各班に分かれて意見を出し合い、質問事項を検討する生徒たち

◀次のページから、高校生議員による一般質問の内容と町側の答弁をお知らせします

# 町が抱える課題、取り組みに対しみんなで考え提言！ 高校生模擬議会 一般質問

35人の  
意見を  
町政へ

一般質問と答弁  
の内容を要約して  
掲載します。



工藤 琉羽 議員

## 子供達が安心して遊べる公園整備を

**問** 公園の遊具が老朽化し、ごみも多い。利用者が減ると思うが、どのような対応を考えているか。

**答** 佐藤副町長

公園は事故のないよう子供たちが安全安心に遊べるのが一番に優先されるべきと考えている。遊具数は少ないが、専門業者に依頼し、毎年点検し、危険と判定されたものは速やかに修理等の対応している。安全性については十分だと思おうので、安心して遊んでいた

だきたい。

ごみについては、ごみ箱が無い場合は、持ち帰るのがマナーと考える。定期的な状況を確認して対応しているが、必要となれば広報や防災無線で周知を図っていきたい。

**再質問** 安全面では、毎年点検されていて大丈夫のようだが、見た目が古く、子供たちに使わせるには不安が残る。せめて色の塗り替え、遊具を増やすなどはできないか。

また、小さな子供たち

に対して、ごみ捨てのマナーに関するポスターを作成するなどの対策をしてはどうか。

**答** 齋藤福祉衛生課長

確かに老朽化している遊具もあり、色の塗り替えも含め、快適な利用のため適正な管理をしてい

きたいと思う。

増設については、昨年度、新田町の児童公園に滑り台とブランコを設置した。今後、必要であれば考えていきたい。

ごみについては、ポスター等作成の提案をいただいたので、公園の状況を観察、調査し、適切な対策を検討していきたい。

多くの子供たちが集まって安心して伸び伸びと遊ぶことができるよう、公園の維持管理に努めていきたい。



遊具が増設された新田町児童公園



古川 真衣 議員

## あじバスのアナウンスの機械化を

**問** あじバスのアナウンスがわかりづらく、降車に迷うと聞かすが、観光客にも配慮し、車内アナウンスを機械化してはどうか。

**答** 佐藤副町長

本年4月に、スクールバスと路線バスを一体化したコミュニティバスあじバスの運行を開始した。3カ月を経過した現在、

運行事業者はもちろん、小、中学生や一般利用者も慣れていない部分もあり、多くの問い合わせや

意見、利用者の声が届いている。

毎月一度、関係者が集う会議の中で情報の共有、対応を協議している。

指摘のあったアナウンスに関する声も寄せられていて、運行事業者に対して乗務員への適切な指導の徹底をお願いした。アナウンスの機械化は現在のところ考えていないが、乗務員による人的対応で解決できない場合は、機械化も一つの検討議題となると考えている。

コスト面では、機械化した場合、その分が増額となる。

**再質問** 機械化にお金がかかるのは、承知しているが、いまだ改善されていない。人件費を考えると機械化の方が低コストで、正確な案内ができ、利用者が増えると考えられるが検討してはどうか。

アナウンスの聞きづらさは、運転手それぞれの発声や滑舌、声の大きさ、マイクの音量、エンジン音、車内状況など様々な要因が考えられる。事業者に対してアナウンスの適切な対応をお願いしているが、改善されていないという指摘があるので、再度事業者に対して要請する。

**答** 小笠原政策推進課長

あじバスの運行は2事業者に委託し、1日13路線、バス13台、57便が走行しているが、アナウン

人的対応で問題が解決できない場合は、機械化導入も含め改善策を検討していく。



運転手がマイク等を使用して降車などを案内



成田 樹李 議員

釣りツアーで観光客の誘致を

問 近年、海外からの観光客が増えている。

更なる増加や、町を賑やかにするためイトウ釣りや海釣りを体験できるツアーなどを実施してはどうか。

答 佐藤副町長

釣りをいかした観光メニューのご提案は、町の魅力に触れると同時に、町素材のPRに効果的に考える。

いまシーズン真っ只中の赤石川のアユ、全国で唯一養殖に成功しているイトウ、漁獲高県内上位のヒラメなど、町には魅力的な素材がある。

例えば、釣り堀等施設を新たに整備するのは難

しいが、釣り愛好家に対し遊漁船情報のPR、その時期に釣れるタイムリーな魚情報を提供し、町に足を運んでもらう取り組みを考えていきたい。

先月、釣具店が主催したノドグロ釣り講習会や、町も支援している赤石川金鮎友釣大会などに

は県内外から多数の釣り客が訪れ、大いに町のPR、観光的要素の充実に役立つ。

今後も大会等支援をしながら、観光客の呼び込みに努力していきたい。



当町にはたくさんの釣り客が訪れる (わんど前)

際には魚釣りだけでは十分であり、食を取り入れることも必要と考える。今後の観光施策を推進するにあたっては、成田議員の提案を参考とさせていただきたい。

再質問 釣り愛好者やその地区のためのイベント

があるかわかったが、観光客向けに、釣りツアーを企画し、その中に鱒高生が好きなチキンボーなどの食体験を取り入れると、釣り未経験者も参加しやすいと思うがどうか。

答 工藤観光商工課長

質問のあった観光客向けの釣りイベントのなかには、イカ焼きやチキンボーといった食の要素を取り入れるという提案だが、確かにツアーを組む



寺沢 睦喜 議員

水産資源回復にイカの養殖研究を

問 水産資源の減少は漁師の生活にも影響し、特にイカの水揚げの減少が問題となっている。

町漁業の回復のために、極めて難しいとされるが、イカの養殖技術の開発が必要と考える。試してみてもどうか。

答 佐藤副町長

町議会でも漁業振興策の質問が出ている。(関連記事 12ページ菊谷議員一般質問の答弁参照)

イカの漁獲量は、当町に限らず全国的に大きく落ちこんでいるが、原因は特定されていないのが現状である。

イカの養殖は、餌の供給、共食いを避ける施設



ヤリイカの水揚げ作業の様子

るが、当町ではヤリイカが主力の魚種となっている。

いずれにしても現時点ではイカの生態が解明されていないことから、養殖技術は非常に難しく、成功した事例は発表されていない。

が必要になり、費用対効果の観点から考慮するとかなり難しいものがあると思っっている。

再質問 イカの養殖が困難なのはわかったが、町ではイカの水揚げについて何らかの対策をしているのか。

町が中心となって、他町と協力し養殖技術を研究すれば、費用も軽減されると思う。

検討してみてもどうか。

答 二戸農林水産課長

全国的に今、問題となっているのは、スルメイカの水揚げの減少であ

広域的な取り組み

による研究となると、10年程前には、町内に水産試験場があったが、現在は平内町にある青森県産業技術センター水産総合研修所に統合され、ここではイカに関する調査など、幅広い調査が行われている。その調査結果に注目していきたい。

町としては、関係機関と連携し、イカに固執せず、水産資源の維持、管理に努め、漁業振興を図っていききたいと思う。

また、寺沢議員のように若い方が、漁業に興味を持ち、将来漁業関係に従事し、町の水産業に貢献いただくことを期待している。



木村 菜々美 議員

**橋の改修で、住民の安全確保へ**

**問** 舞戸町の中村川に架かる赤い橋は、劣化が進み危険な状態である。高齢者や小学生が利用しているので補強するべきだと思つ。

**答** 佐藤副町長  
ご指摘の橋は、舞戸の岩谷地区と新田町の間に、町が昭和56年に架けた人道橋で、多くの方に利用されている。経年劣化でさびもあり、今年5月に簡易的な修繕を行い、先日も建設課で現地確認し、安全に



設置から36年経過した新富橋(通称赤い橋)

渡れるよう対応に努めている。

新富橋が架かる中村川は、県が管理する二級河川で、ここ四、五年は幾度となく、避難指示や警告を出すほど氾濫警戒水域に上昇している。県では氾濫を抑制し治水安全度を上げるため、平成19年度から38年度まで河川改修工事を行う予定であり、これまで明海橋と舞戸橋の架け替えが終了している。

いま、町として新富橋の大規模の改修はできないが、十分安全面に留意して、住民が通行できるように対応していく。

**再質問** 安全に渡れるよう努めているとのことだが、走るだけでも揺れることがある。具体的にどのような対応をしているのか。また、架け替えの際の素材、架け替え工事の予定はあるか。

**答** 今建設課長  
走ると揺れるとのことだが、鉄製なので響くことはあり得ると思う。橋梁点検の講習を受講した職員がパトロール、点検を行い、安全上問題ないと考えている。先般も腐食のあった床板、欄干の溶接と塗装を行っている。

架け替えは、中村川の河川改修工事の中で対応となるため、現時点で素材等を示すことはできない。今後、県と協議するなかで、素材等の説明は可能になると思う。県の計画では、今年度は護岸工事と用地補償を予定し、事業費は4億1000万円である。

津軽森山頂からみた白神山地



平沢 杏菜 議員

**アニメや漫画で町や白神山地をPRしてはどうか**

**問** 白神山地は、もののけ姫のモデルになった場所があるのにあまり知られていない。

日本のアニメや漫画は世界でも人気があるのだから、オリンピックに向けて、白神山地がものけ姫のモデルとなった森であることを宣伝すれば、白神山地も賑わうと思うが、どうか。

**答** 佐藤副町長  
調べたところ、ものけ姫の制作にあたり、美術担当者が白神山地を訪れ、町などで写真撮影や絵を描いたりし、そのイメージが作品にちりばめられているようである。

2020年の東京オリンピックに向け、全国でインバウンド事業が展開されているが、当町では観光パンフレットを英語、中国語等で表記し紹介している。

また、冬期間は、台湾からのチャーター便でスキーを楽しむ観光客が訪れ、相撲館や酒蔵の見学、町内での買い物へ案内するなど、インバウンドにも力を入れている。ご質問にあったもののけ姫を活用することは、名義使用、著作権など難しい問題がある。

観光客の誘致にあたり、白神山地のPRも含め、いろいろな情報発信に努めていきたい。

**再質問** もののけ姫を活用することは難しいとわかったが、海外では日本のアニメが好きな人は多い。鱒ヶ沢町を舞台にしたアニメや漫画、映画等を作り、白神山地や町を広めてみてはどうか。

**答** 工藤観光商工課長

平成23年に鱒ヶ沢を舞台にした映画わさおが上映され、翻訳されたDVDが東南アジア各国で販売されている。映画を機に、わざわざお会いするため、国内外からイカ焼き店を訪れる観光客が増加したと聞いています。

アニメや漫画、映画に絡めて地元をPRする手法は、ロケ地として広く内外に向けた宣伝効果が期待できるとの考えで、全国各地で誘致の動きが見られるが、当町においてもその可能性を探るとともに、検討していきたい。



津軽森山頂からみた白神山地

若者への創業支援で町活性化を



神 優哉 議員

問 当町の人口減少が進む要因の一つに仕事が少ないのでは、と私たちは考えた。仕事を増やすために若者の起業をバックアップする方針はあるのか。例えば鱒ヶ沢高校で実施している楽天IIT学校や\*SBP活動で得た知識を活かせるような環境づくりを行い、町と共同で特産物をPRする会社の設立、優れたアイデアへの補助金交付などのバックアップをしてみているかどうか。

答 東條町長 町では、創業支援事業計画により町商工会、関係機関との連携体制を整備し、創業希望者に寄り添った支援をしている。内容としては、新創業者や新規分野に挑戦する起業家への設備導入等の資金補助、空き店舗活用時の家賃補助がある。若い世代が挑戦することとは、町の元気活性にも繋がるものと考え、引き続き支援制度の拡充等に努めていく。



SBP活動で町の物産をPRする鱒高校生(昨年の様子)

再質問 鱒ヶ沢町の特産品を町と共同でPRする会社の設立計画はあるのか。

答 小笠原政策推進課長 現時点では、町と共同でPRする会社設立の計画はないが、町では、人口減の対応策、雇用創出対策として「まち・ひと・しごと鱒ヶ沢町総合戦略プラン」というものを策定している。このプランの中に地域商社の設立を掲げている。地域商社は、魅力ある地域産品の販路を生産者に代わって新たに開拓し、販売の拡大を図る役割を担うものとされている。町にとっても新しい概念であり、情報を収集し、関係団体と意見交換を重ねている。今年度、地方創生の取り組みを推進する部署も変更となったため、改めて地域の実情に見合った地域商社の機能や役割を慎重に考え、事業の早期実現に向かって努めていきたい。

閉校校舎の活用で町おこしを



小野 美穂 議員

問 閉校した校舎を利用し、地元の食材を使った食堂を開いたらどうか。町には働く場所が少なく、新しい雇用の確保、町PRにも繋がると思う。具体的に、日本一長い廊下で有名な旧赤石小学校を利用し、メニューも地元の子供たちが考えるなど、町民みんなで作くりあげる町おこしの一環として検討いただきたい。

再質問 閉校校舎の活用を様々検討しているとのことだが、例えばどのような案があるか。

答 神教育長 閉校となった校舎は、有効活用について様々な検討し、一部、校舎や敷地を貸与し、活用されているケースもある。だが、老朽化が著しく、施設規模が大きいため再

利用には大規模な修繕が必要で、維持管理費も多額となる。また、立地条件により利用価値が大きく左右されると考える。ご提案の地元食材を使用した食堂案は、一つのアイデアとして受け止め、ぜひ検討していきたいと思う。

多額な維持管理費用が想定されるのであれば、事業協力の呼びかけや、他県に寄付を依頼することはできないか。また、宿泊施設として利用してはどうか。町としても宿泊施設をいくつか持っているため、整備は費用対効果の面からも難しいと考える。事業協力については、ふるさと納税、または、インターネットのクラウドファンディングで寄付を集める手法もあるが、より良い活用方法に繋がるよう今後の廃校活用を考えていきたい。



木造校舎で日本一長い廊下の旧赤石小学校

\*SBPとは…ソーシャルビジネスプロジェクトの略。地域社会の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうという取り組み。



三浦 湊一 議員

### 鱒ヶ沢高校の生徒数減少への対策は

**問** 高校の生徒数が減少傾向にあり、募集停止になる高校が県内でも多く見られる。

鱒ヶ沢高校の生徒数減少や廃校を防ぐために、町ではどのような対策を考えているか。

#### 答 東條町長

生徒数の減少対策については、魅力あふれるまちづくりはもちろん、特色のある教育プログラムの導入や学校の魅力を高めていくことが重要だと考える。

現在、町では楽天株式会社、青森銀行と協定を締結し、地域活性化に取り組んでおり、その中で高校生には地域の魅力を



楽天IT学校の様子

さを認識するプログラムを準備しているとのことだが、その内容は。また、いつ実行するのか。そして町立化は難しいとのことだが、できないとの回答でよいか。

#### 答 佐藤副町長

プログラムの内容は、現在進めている。\*楽天IT学校において、インターネットビジネスの魅力と可能性の体感を目的に、本年度スタートしている。

また、今年度も地域資源を活かした取り組み、SBP活動に助成、応援していくもの。

町立化は、多額な財政負担、高等教育のノウハウ、教職員の採用・研修関係等が課題となり、町の少子化の現状を考えると、極めて厳しいと言わざるを得ない。

入学志願者が増えることが存続に繋がると捉え、今後も県立高校としての存続を強くお願いしていく。

### 再質問 特色ある教育プログラムへの導入、町の良

また、昨日の新聞に、五戸高校の町営に関する記事が掲載されたが、町立化は難しいと考える。みなさんの町立運営で存続をとという気持ちは十分理解するが、簡単にはいかない。まずは、町中学校からの入学者を一人でも増やしていきたい。

### 冬のイベントを利用した観光PRを



神 嘉乃 議員

**問** 鱒ヶ沢町の夏は、行事や観光スポットが多いが、冬はスキー以外の観光場所がない。

もっと人を呼ぶために雪まつりを行ってはどうか。

#### 答 東條町長

ご指摘のとおり冬期観光は手薄な状況だが、昨年は、台湾など雪になじみが少ない外国人観光客を誘致し、地吹雪体験を取り入れたツアーを試行した。大変喜んで帰られたと聞いている。

また、近年は駅前広場で、雪灯籠やミニかまくらとキャンドルで雪明かりを演出したキャンドル

ナイトを開催し、冬のイベントとして喜ばれている。当町の冬場は気候が厳しいが、状況に合ったイベントがあればと考えている。また、確定はしていませんが、長平のスキー場にハーフパイプを設置したいという業者も出ている。ハーフパイプ競技も考



冬期間は閉園している大高山総合公園 (写真はステージ広場)

#### 答 工藤観光商工課長

現地は風が強く、簡単にいかないと思うが、業者ともいろいろ検討していきたいと考えている。

**再質問** 観光客を誘致している取り組みはわかっていますが、雪まつりについては、大高山運動公園の広場を利用し、雪男・雪女コンテストを行うアイデアを考えた。

全国から雪女のように白く、髪が長く長い女性、雪男のようにたくましく、筋肉質な男性を集めるというのはどうか。

当町においては、スキーや温泉などの観光資源、旬の魚介など冬を楽しむ地域環境にあることから、イベント等の提案については、地域への経済効果も含め精査し、検討していきたい。

また、近年は駅前広場で、雪灯籠やミニかまくらとキャンドルで雪明かりを演出したキャンドル

\*楽天IT学校とは…電子商取引(インターネット上の商取引)について商品開発や販売体験などを通じ、実践的に学ぶ授業のこと。

# 模擬議会を終えて



参加した鱈ヶ沢高校2学年35人の生徒、学年先生と一緒に。  
前列左から、鶴田教育委員長、神教育長、鱈ヶ沢高校百川校長、東條町長、一戸町議会議長、佐藤副町長

本会議終了後、町議  
会一戸議長が講評を述  
べました。

また、参加した生  
徒、百川校長先生に感  
想をお聞きしましたの  
で、その内容を掲載し  
ます。

## ■講評■

**一戸千代久 町議会議長**  
みなさんの質問は、本  
当にすばらしい内容ば  
かりでした。

我々町議員も今後課題  
として議員活動にいかし  
ていかなければならな  
いと考えます。

みなさんは投票できる  
年齢に近づいています。  
この経験を生かして政  
治に関心を持っていただ  
きたい。

そして、みなさんの力  
で鱈ヶ沢町の人口減少を  
食い止めて、すばらしい  
まちづくりをしていただ  
きたいと思います。

## ●感想●

**桜庭 理沙 議員**

鱈ヶ沢のことをあまり  
知らなかったのですが、  
高校生議会のおかげでい  
ろいろ知ることができま  
した。

**吉田 翔 議員**

今回、町の問題やこれ  
からについて話し合った  
ことをきっかけに、より  
良い町になることを願っ  
ています。

**神 琢海 議員**

高校生議会を通して、  
町の抱えるいろいろな問  
題についてしっかり考え  
ることができて良かった  
と思います。

**小林 菜月 議長**

貴重な場で議長を務め  
てとても緊張しました。  
気が抜けない議会で最  
後までミスなくやり遂げ  
ることができて良かったです。

**佐藤 芽衣 議長**

議長を務め緊張しまし

たが、自分の成長につな  
がるいい経験ができた  
た。

町に対する意見を聞いて  
自分たちができること  
があるとと思うので、ぜひ  
やっていきたいと思いま  
す。

**小山内 拓海君**

(傍聴生徒)  
議会の内容、議員の話  
に対し、よく考え答えて  
いただいて有意義な話し  
合いになっていたと思い  
ます。

**三浦 歩己君**

(傍聴生徒)  
議員の発表を聞いて、  
町が抱える問題とこれか  
らの町について真剣に考  
えてくれていてと改めて  
わかりました。

**戸沼 柊二君**

(傍聴生徒)  
議員の発表を聞いて、  
みんな町の発展のために  
真剣に考えていることが  
改めてわかりました。

## ■百川 弘通 校長

一年経って、生徒たち  
が成長したと感動してい  
ます。

町長はじめ各課長に真  
摯に答えていただきあり  
がたいと思います。

我々教職員、生徒たち  
にこれからどんどんいろ  
いろな形で、将来力強く  
生きていける、そして、  
いずれ鱈ヶ沢の町を活気  
づける、そういう若者を  
育てていくという思いを  
また新たにしていること  
ろです。

今日は、本当にありが  
とうございました。

## ◇傍聴者からの感想◇

・町を良くするため高校  
生が真剣に考えていて  
感心した。町は何か一  
つでも実現させてほし  
い。

・質問内容も態度も立派  
で素晴らしい。町のこ  
とを真剣に考えていて、  
町の未来は明るいと思  
った。これからの活  
躍に期待。

# 外国人旅行者受入のため 環境整備へ(海の駅トイレ改修)

**第2回  
定例会**  
6月8日~13日

来町する外国人旅行者数増加 快適な利用を

▽海の駅駐車場  
トイレ改修



1206万円

観光バス客の休憩などにも多く利用されている

一般会計予算は、海の駅駐車場トイレの洋式化に係る改修費など300万8000円を増額補正しました。

補正後の歳入歳出予算の総額は65億1万8000円となりました。

**平成29年度一般会計補正予算**

**可決**

平成29年第2回定例会が6月8日から13日までの日程で開かれました。本定例会には、町長・副町長の給料減額の条例改正など議案7件、諮問1件、報告4件が上程され、最終日、本会議において審議の結果、議員全員賛成により可決、適任とされました。

12日に行われた一般質問では、4人の議員が登壇し町政を問いました。(一般質問の内容は、11ページから14ページに掲載しています)。なお、主な議案等は次のとおりです。

▽あじバス転回場所整備



706万円

安全なバス運行、冬期間の積雪等に対応するため、起点、終点となる松代、建石地区の転回場所を整備。

松代停留所の転回場所

室内温水プール大規模改修工事(2期工事)

契約金額 7722万円

可決

(契約の相手方)  
茶谷工業株式会社

(施工期日)  
平成29年11月30日

人権擁護委員候補者の推薦(諮問)

推薦 石岡 民雄氏(赤石町)

適任

欠員となつていている人権擁護委員に同氏を候補者として推薦するにあたり、適任と認めたもの。

町特別職等の職員の給与の特例に関する条例の一部改正

可決

町職員の公金紛失事件の責任を取り、町長、副町長の平成29年7月分の給料月額を10分の1減額するもの。

【減額する額】

- 町長 49490円
- 副町長 56500円

※町長の給料月額、特例条例で本来の額から自動的に30%減額した額です。

◇補正額 保険料還付金

40万5000円

国から提供されている後期高齢者医療保険徴収システムに不備が発生したことにより、保険料の還付が発生したものを。

(見込み10件)

平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算

可決

※国民健康保険税についても後期高齢者医療制度と同基準で算定していることから、一部被保険者に追加徴収・還付が発生しました。

町では、7月に対象者へ書面によりお詫びと更正内容を説明しています。

**保険料の追加徴収・還付**

◎還付(18世帯) 92万8100円

◎追加徴収(9世帯) 54万8100円

(国保税)

〈財産の取得〉

**除雪ドーザの購入**

可決

平成5年に取得した除雪機械を入れ替えるもの。

(契約の相手方)  
日本キャタピラー合同会社 弘前営業所

(納入期限)  
平成29年11月30日

(形式)  
14トン級、車輪式



購入する同形式の除雪ドーザ

契約金額 2339万2800円

# 一般質問



渋谷 悦男議員

## 町政を問う！

6月定例会では、4人の議員が一般質問を行いました。その内容を本ページから14ページまで掲載します。

### 町政を引き続き担う意思はあるか 答へ前向きな検討をさせていただく

#### 母子支援センターの事業内容と今後の運営は

問・当町には産科を扱う医療機関がなく、出産を控える母親にとって母子支援センターの体制は、大変心強く、安心感が得られるものと思います。人口減少が加速する中、産み育てられる体制の環境整備はとても重要だと考えますが、母子支援センターの事業内容と今後の運営についてどう考えていますか。

答弁・佐藤副町長

母子支援センターは、平成15年に町立中央病院の産科が廃止となったこ

とを受け、平成21年5月に町直営により設立し、以降、産前産後のケア事業、ママサポート事業、紙おむつ支給やベビー用品のリユースなど、3つの事業を柱として展開しています。



助産師が乳児家庭を訪問し、発育のようすを見たり、母親の相談等に対応している

特に中核をなすのが、

設立当初から直営の助産師が訪問している産前産後のケア事業（里帰りの方の利用可）です。妊娠中の訪問や相談、母乳の育児支援、乳児家庭の全戸訪問など、妊娠から出産、産後まで切れ目のない支援を行っています。他町村に先駆けて実施した先進的的事业で、助産師の対応は心強いものであると、利用者からも大変好評をいただいているところですが、

今後、安心して出産、子育てができる手厚いサポート体制に、積極的に力を入れて進める事業と考えています。

問・母子支援ヘルパーを募集していますが、携わるスタッフの体制はどのようなになっていますか。

答弁・佐藤副町長

登録者は18名で、うち実質的に稼働しているのは10名程度です。

その中に看護師・准看護師など医療系有資格者が3名います。母子支援ヘルパーは、助産師とともに、子育て支援に欠かすことのでき

ない存在であると認識しています。主な仕事内容は、いずれも有料で、家事援助、一時預かり、病後児保育などです。

意見・全国的に注目されている事業であり、里帰りの方へも情報提供し、貴重な人材を有効に活用しながら、さらに充実した事業展開を期待します。

気あふれるまち再生の基本理念のもと、財政・町民・産業の3つの元気推進を柱に掲げ取り組まれ、財政面では財政調整基金が増加するなど、以前より確実に改善されてきています。

しかし、人口減少対策、役場庁舎移転構想、産業経済の振興など課題が山積しており、一朝一夕ではなし得ないと思いますが、町政を引き続き担う意思はありますか。

答弁・東條町長

元気あふれるまち再生に向けて、これまで3つの元気推進に取り組みしてきましたが、課題は山積し、まだまだ道半ばです。

各施策の推進のため、後援会と公約などを積極的に協議しながら、これから町長選挙に向けて、前向きな検討をさせていただきます。と考えています。

#### 次期町長選挙へ立候補する意思は

問・町長は就任以来、元



菊谷 忠光議員

# 漁業の停滞打開に6次産業導入を 答へ意欲ある個人、団体へ全面的支援

深刻な町漁業の現状をどう考えているのか

問・近年にない漁獲量の減少、漁業者の高齢化や後継者問題など、深刻な状況にさらされている町漁業の現状をどう考えていますか。

答弁・佐藤副町長

町の現状として、平成15年と平成25年の比較データを見ると、漁獲量は1割程度減少、漁獲金額は半減しています。

今年も、特にヤリイカの漁獲量が極めて不振となっています。

町の漁業生産は、回遊魚への依存度が非常に高く、経営に対する大きな不安要素となっています。それらの解消のためには、通年で旬の魚を安定

して漁獲し、消費者に提供することが必要であると考えます。

町としても3年続けて漁協に対し水産施設改修の助成をしているほか、アワビ、ナマコの放流事業に対する助成を行っています。

現段階では、これらの事業を進めていき、漁業生産基盤の整備、つくり育てる漁業の推進、魚価の向上などについて、漁協や関係者と連携して漁業振興に少しでもつなげていきたいと考えています。

現状の打開策として6次産業に取り組む考えは

問・漁師の現状として利益を出しているのは一握りで、若い漁師は将来に不安を感じています。漁師の所得を向上させ、漁業の衰退を防ぐためにも、自分で獲って加工し販売する6次産業を導入する考えはありませんか。

答弁・佐藤副町長

生産、加工、販売という6次産業に取り組むには、個人や事業主体が意欲的に行動することが大事であると思います。

6次産業に取り組む、販路開拓、商品開発したい個人、団体には、事業化に向けた支援策として研修、勉強会の開催や助言、また、県や関係機関

への連絡調整などを行い、全面的に支援したいと考えています。

問・隣町では、6次産業はすでに始まっています。地域の事情を知る役所がキーワードですから、町として6次産業化推進計画の策定をお願いしたいのですが、いかがですか。

答弁・佐藤副町長

6次産業に取り組むという個人、もしくは事業主体があれば、個々にその人たちと話し合いをし、意見をすり合わせる、まずそこが一番のスタートだと思っています。

今後とも支援、助言、連絡調整等を行っていきたいと思います。

## 鱈ヶ沢町で海面の養殖事業はできないか

問・広い海がある当町で養殖事業は、できないものでしょうか。

答弁・佐藤副町長

以前、アワビの養殖を試みましたが、成果が得られず断念した経緯があります。海域で養殖事業をするには広域型の増養殖施設の設置、静穏域を作る必要があり、建設費は数十億を要します。

また、区画、漁業権設定、県の許可を得る等の問題があります。当町の海域は高温が続くため適正温度での養殖は難しいと考え、内水面による新たな魚介類の養殖について検討していきたいと思っています。

意見・6次産業の事業が順調に波に乗れば、さらに新たな雇用も生まれ、町が発展するのは間違いありません。

新しい鱈ヶ沢のために、お互い手を組んでいけば、また新たな挑戦ができると思います。

がんばりましょう。私も言い出しつべなので、汗をかく覚悟はできていますので、力と知恵をお貸しください。



鱈ヶ沢漁協水産加工施設



鶴田 悦子議員

あじバス停留所の案内板、あじバスの外観を是正する考えはないか

問・あじバスの運行は遠い集落の方にも大変助かるものと考えますが、時刻表の案内板が積雪期になると除雪された雪で見えなくなるのではないかと時刻表の大きさがB4判であれば見やすかった。また、バスの外観があじバスなのか観光バスなのかわかりづらいという声を聞きます。これらを是正する必要はないですか。

答弁・佐藤副町長

あじバスは、本年4月から運行したばかりでいろいろ課題が山積しているのも事実です。案内板が見えなくなる

### 利用者へ配慮したバス停の整備を 答へ設置場所の状況に応じて考慮

可能性は除排雪の状況、また山間部の設置場所によつては全くないとは言えません。

ンチまで上げることができるので、除排雪の状況に合わせて対応していきたいと思ひます。

統一されていません。統一するには、塗装や全体的ラッピングが必要となり、経費のみならず施工期間を相当要するため、現在は考慮していません。

バス停は、バス運行事業者、町が協力して管理していきませんが、常に雪に埋没するような場合は、そのバス停の場所について個別に対応し、そのような事態を防ぎたいと考えています。バス停の台は最高で1メートル20センチ

時刻表示は、駅前など便数の多い場所は、案内板を2枚設置し対応していますが、大きさについては、今後状況を見て判断し考えていきます。外観については、従来のスクールバス車両を基本的に活用しているため、

あじバス統一デザイン導入など、運行業者と協議していくべき案件と考えています。



駅前に設置されたあじバス停留所

バスを待つ高齢の利用者へ配慮が必要なのは

問・何十力所もある停留所に待合所を設置するのは不可能ですが、利用の多い高齢者はバス停で長時間寒さや暑さに耐えながら待つのが大変で、利用しなくなると推察しますが、どのように考えていますか。

答弁・佐藤副町長

高齢者の乗車が多い駅前、鯉ヶ沢病院前には腰をかけるベンチが整備されていますが、117カ所あるバス停全ての整備は非常に困難であると思ひます。今後、利用者の声、バス停周囲の環境など考慮しながら、整備の可否も含め個別の判断が必要と考えています。

中学生の糖代謝有  
所見者に対する食  
生活指導の体制は  
問・前定例会でも質問し

ましたが、ヘモグロビンA1c検査の有所見者がいた場合、中学校や保健師、その家庭に対し、食生活の指導が長期にわたる必要と考えます。各関係者との連携をどう考えていますか。

答弁・神教育長

今年度は、有所見者だけでなく、全受診者の親子を対象とした面談を学校で実施する準備を進めています。

また、弘前大学大学院の中路重之特任教授の授業や調理実習など、体験から学べる学習を実施する予定です。

さらに町内小中学校の教職員対象の研修会等を開催し、現場スタッフの教養アップにつなげ、学校で健康教育が継続的に行われるよう体制づくりを行います。

今年度は、積極的に学校医、養護教諭、栄養士、保健師、保護者と連携し、子供たちに健康づくりの大切さを学んでもらうよう努めています。



世永 富也議員

# 町民にわかりやすい施設管理計画を 答へ優先順位を検討後、個別計画を策定

## 新庁舎移転場所の 決定時期は

問・役場庁舎の移転場所の決定時期はいつごろか、また、それに伴う予算変動はあるのか、移転後の現庁舎の対応、対策はどうなっているのかお聞きします。

答弁・佐藤副町長

### ① 決定時期について

新庁舎建設検討委員会から候補地などの基本構想案を9月中旬に答申いただく予定としています。答申を受け、10月に住民説明会を開催し、10月末までには、建設候補地を決定したいと考えています。

### ② 予算の変動について

建設候補地によっては、既存の建物の解体が必要

となるなど、当然予算の変動が考えられますので、

事業費の積算に当たっては、正確な見積もりと事業費の精査を行い、事業費が膨らまないようにしたいと考えています。

### ③ 現庁舎の対応について

移転後の現庁舎については、平成32年度末予定の新庁舎建設終了後、35年度までをめぐりに解体したいと考えています。

解体までの期間は建物を含むなどの処理や、立ち入り禁止の看板設置など安全管理の徹底を図りたいと考えています。

解体後の跡地利用については、議会や町内会などの意見集約に努め、実現可能な提案をしたいと考えています。

## 旧消防庁舎の活用、 解体撤去を考 えているのか

問・旧消防庁舎について、他の施設として利用するのか、解体撤去するのか、今後の対応、対策の説明をお願いします。

答弁・佐藤副町長

旧消防庁舎は、当面は役場公用車の車庫として、また役場の倉庫、書類の保管場所として利用したい考えです。役場新庁舎建設後には解体し、跡地利用についても検討を進めていきたいと思っています。



町公用車車庫として利用開始された旧消防庁舎1階

## 施設管理計画を作り 直す考えはないか

問・鱒ヶ沢町公共施設等総合管理計画を議員に出しましたが、非常にわかりにくい。

平成26年に作成した公共施設管理計画は、経過築年数、現在の使用状況、将来の方針など大変わかりやすい計画になっているので、この計画を基本に修正し、すぐ作り直すことはできませんか。

答弁・佐藤総務課長

公共施設等総合管理計画の策定により、有利な起債の配分もしますという国の支援策も出されています。

ただ、財源の確保ができましたが、すべてを一気にというのは難しいため、今後は優先順位を考

答弁・佐藤副町長

各施設所管課の担当者による委員会をもう一度立ち上げて、意見を集約

したいと考えています。

ただ、財源の裏付け等を明示して、個々の施設にすべてあてはめるといふことになれば、時間もかかることかと思っております。今の段階では、いつまでに策定というはっきりとした回答は難しいと考えています。

問・町民の理解を得るためにも計画を作るべきだと思いますが、町長はどう考えていますか。

答弁・東條町長

とりあえずは、役場を建てていく。そして、その後は、予算などの問題もありますので、公民館をどうするとか役場、旧消防署の解体とかを一つ一つやっていきたいと思っています。

意見・今、役場の新庁舎建設を検討していますが、町民からは、ほかの施設は今後どうするのかという声が必ず出てきます。なるべく早く計画を出していただきたい。

# 議会活性化に向けて 今、できることからスタート

## 議会改革 学習会



6月22日、町議会は青森中央学院大学佐藤淳准教授を講師に招き、「今、なぜ議会活性化が必要か」をテーマに議会改革学習会を開催しました。

学習会は、3月に開催した議会改革特別委員会の学習会と同様、「聞く、考える、対話する」という方式で行いました。当日は、議員10名が参加。講義を聞き、3つのグループに分かれ、議会改革や町の人口減少について、意見を交わしました。

先進地の取り組み事例を聞き、活性化の必要性を考えていく

佐藤准教授は、講義のなかで、議会改革という言葉は、今までやってきたことを全面的にやり直す改革というイメージがあるが、今、鱈ヶ沢町議会が進む方向は、議会の活性化であり、できることから取り組みを進めてほしい。そのためには、議会報告会、町民との意見交換会の開催は不可欠であり、そこから挑戦してほしいと話していました。そして、活性化を進めながら、議会基  
本条例の制定に向けて、議員間で議論することが必要と説き、これからは議員一人一人の活動だけではなく、議会の総意を  
図ることで議会の力が高まっていくとの助言がありました。町議会では、今後、婦人団体との意見交換会を実施する予定としています。

### 管内視察

#### 赤石溪流線道路など 町内3カ所を視察

6月13日、全議員参加のもと、管内行政視察が行われました。その内容をお知らせします。

赤石溪流線道路は、新ルートの建設予定地には杭打ちがされていました。道路改良事業は31年度の開通を目指して進められています。

#### ■赤石溪流線道路

平成27年2月の土砂崩落発生で通行止めとなっていた赤石溪流線の改良工事の状況を確認しました。



川岸で町担当課の説明を聞く議員

#### ■日本拠点館

平成23年3月から利用のない拠点館3階ホールや5階会議室、事務室等の現状を確認しました。町から館内の利活用を検討するため、改修等の設計費を補正予算に計上し、調査していく考えであると説明を受けました。

#### ■新庁舎建設候補地

平成32年度までに高台移転、建設が検討されている新庁舎の建設候補地3カ所(旧鱈ヶ沢第一中学校グラウンド跡地・大高山町有地・勤労青少年ホーム等敷地内)を視察。各候補地の利点、問題点を聞きました。

### 研修会

#### 県下町村議会議員研修会

「これからの政局・政治展望は」

7月20日、青森市において県下町村議会議員研修会が開催され、町議員9名が参加しました。

リスト須田慎一郎氏を迎え、「これからの政局・政治展望は」をテーマに講演を聞きました。

講師にテレビ等で活躍されている経済ジャーナ

持率回復の鍵は、景気経



ユーモアを交え講演をする須田氏

済対策であると自身の見解などを話しました。

# 特集 ~まち再発見~

鱈ヶ沢町に勤務して

Vol. 3

## 小規模校ならではの強みを生かして

### 人とのつながりを一番の財産に



ももかわ ひろみち  
鱈ヶ沢高校 百川 弘通校長

(黒石市在住) 校長職として鱈ヶ沢高校に赴任し2年目。専門教科は社会。旧浪岡町出身。

特集「まち再発見」3回目の今回は、町で初めての高校生模擬議会を開催した鱈ヶ沢高校の百川弘通校長にお話を聞きました。

鱈ヶ沢高校は、毎夏、鱈ヶ沢甚句流し踊りの披露、SBPや町、青銀と協定締結した楽天のIT学校など地域に接した様々な活動に取り組まれています。

聞き手は、菊谷忠光、今勝義広報委員です。

※SBPとは…ソーシャルビジネスプロジェクトの略。地域社会の課題をビジネスの手法を用いて解決していくという取り組み。

Q はじめに高校生模擬議会開催に至ったいきさつを教えてください。

A 選挙権が18歳に引き下げられましたので、生徒に主権者教育をすること、それが一番の理由です。

イギリスの政治学者の「地方自治は民主主義の最良の学校である」という言葉もありますが、高校生に政治に関心を持つてもらえればと。

まず、地方自治から学び、模擬議会を経験して政治に興味を持ち、主権者になっていく。

そして、将来は、地元貢献できる人材になってほしいという思いがありました。

Q 当初の高校生議会の開催でしたが、いかが

だったでしょうか。

A 生徒にとっては、自分たちが住んでいる地域に向き合う良ききっかけになったと思います。

生徒の感想として、町長はじめ理事者側の皆さんが真剣に取り組み、本気になって自分たちに伝えてくれた。

そのように生徒は受け止めています。議場での生徒の姿はどうでしたか。

A 感動しました。しっかりやれると。

当校に赴任当初、生徒たちは、素直であいさつもいけれども、どこか自信がないような印象がありました。

生徒を元気づけ、自信をつけさせるには、外の

力を借りようと考えました。一人の生徒が経験することは他校より多く、それが強みです。

SBPや楽天IT学校などの活動で、外に出て大人と一緒にいろんな仕事をし勉強する。その経験が身に付けば、社会に出て受入れられると考えています。

Q 町に対して要望等がありますか。

A 町にはいろいろ場面で、声を掛けてもらってありがたいと思っています。県立高校といえども、今後とも町と協力体制をとっていききたいと思っています。

Q SBP活動で、三重県伊勢市でプレゼン発表もすると聞いていますが。

A 生徒たちが、外に出て町の人と一緒に活動するのは、大切なこと。自分の存在が、他人に認められたら自信になります。当校は、人数が少ないので、一人の生徒が経験

Q 少子化等により生徒数も減少していますが、今後はどのような方針で学校運営をしていくお考えですか。

A 今いる生徒をちゃんと社会へ送りたい。そのため生徒たちが外に出ていろいろな経験をする場面を作ってあげたいと考えています。

地元の方、そして、いろいろな人たちのつながりが、一番の財産だと思います。

その財産を生徒たちに持たせてやりたいと思っています。

その財産を生徒たちに持たせてやりたいと思っています。